

三島大明神 神主前田長門 寺一ヶ所下總國正中山法花寺末 法花宗 三松山長榮寺

一此島御年貢金拾六兩三分永貳百卅三文宛年々定納仕候

一爲御救米一ヶ年米貳拾三石四斗五合宛被下置候

一御圍米無御座候

一此島稼には男は薪を取、江戸へ積出し、鯉、鯉、鯉を取、干物、鯉節に致、江戸へ出し、夫を食に代替渡世仕候

一女は冬春は海苔を取、其外漁事手傳致、渡世仕候

一廻船拾三艘、漁船四十艘御座候

一流人渡世之儀は親類より見繼無之者は、百姓手傳致、渡世仕候○中略

寶曆三年酉十二月

〔南方海島志上〕新島

式寧嶋。南方一里許リ在リ、周回一里餘、上ニ松林アリ、葛草、蘚、藓、蕨、草等ヲ生ズ、常ハ不採凶年ノ備トス、昔ハ本島ト地連キタリ、海溢ニテ切シ故ニ海溢トモ云、本人家及寺ナドモ有タリシガ皆廢ス、嶋ノ西ノ方ニ泊リト云處野蟲ト云處僅カノ巢アリ、八丈船ナド詮ナキ時ハコ、ニ繫泊ス、

〔南汎録〕十五日○天保九年四月小舟如式寧、謁山神祠、屋壁皆用浮石、穿簣二百步出、東邊奇崑、臚峙○中略躑

躑、幔生有洞、通潮汐、曰潮穿崑、洞中見三宅於東南之際、是爲嶋中最勝區○中略古者式寧接本島○新島

一歳海哨中斷爲二所謂潮穿、獨松當時所洗出云、嶋有三十一灣、灣皆可漁、可泊、故東風則漁西灣、西風則漁東灣、島人目爲寶庫

〔伊豆海島風土記〕神津島は伊豆國加茂郡下田湊より午の方にあたり、海上十八里、江戸よりは